

1. 家族で話し合っ「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合っ決めよう。
3. 家族で話し合っ読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。

6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。



うちどく.com より



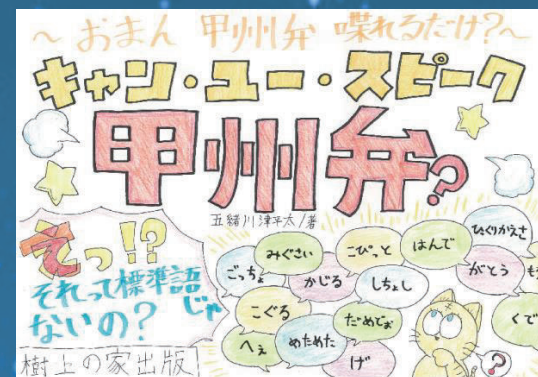
【家族で読んだよ部門】  
優秀賞

「いちばん危険なトイレといちばんの星空  
世界9万5000km自転車ひとり旅Ⅱ」  
(石田 ゆうすけ/著 実業之日本社)  
北杜市立甲陵中学校 松下 温土さん



【家族で読んだよ部門】  
優秀賞

「生き方は星空が教えてくれる」  
(木内 鶴彦/著 サンマーク文庫)  
北杜市立甲陵中学校 湊 恵万さん



【家族で読んだよ部門】  
優秀賞

「キャン・ユー・スピーク甲州弁?」  
(五緒川津平太/著 樹上の家出版社)  
県立甲府南高等学校 丸山 駿人さん

## 家族みんなで 毎月 お家で読書

第1日曜日 (家庭の日) と  
第3日曜日 (青少年をはぐくむ日)を、  
家読デーとして、  
家族そろって読書をしましょう。

読書をきっかけに、  
家族のコミュニケーションを  
豊かに!

作品	作/絵/訳	発行年	出版社
かならずお返事書くからね	ケイトリン・アリフィレンカ、マーティン・ギャンダ/著 リス・ウェルチ/編 大浦千鶴子/訳	2018	PHP研究所
ギヴ・ミー・ア・チャンス	大塚敦子/著	2018	講談社
気がつけば動物学者三代	今泉忠明/著	2018	講談社
十代に語る平成史	後藤謙次/著	2018	岩波ジュニア新書



新しい本の紹介

◆令和元年10月  
◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課  
〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号  
TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775  
<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>

# 家読100選

令和元年度版  
中学生・高校生向け

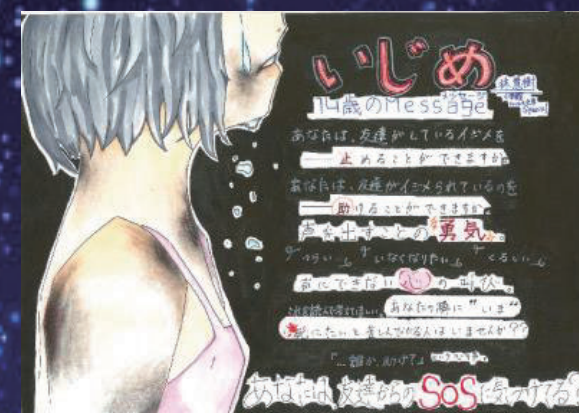
山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト

昨年度  
うちどく  
ポップ展  
入賞作品



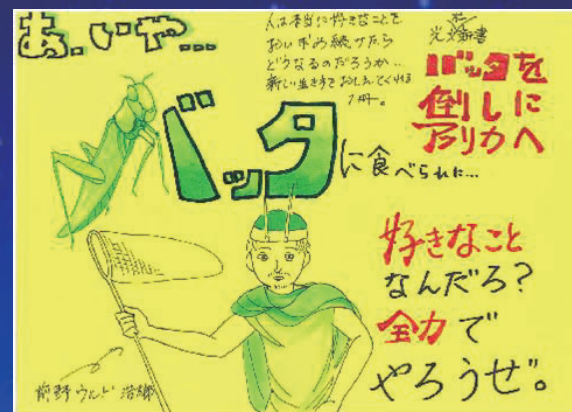
【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞

「かがみの孤城」  
(辻村 深月/著 ポプラ社)  
甲府市立西中学校 上野 早穂さん



【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞

「いじめ 14歳のMessage」  
(林 慧樹/著 片桐 郁美/絵 小学館 ルルル文庫)  
身延町立身延中学校 石部 未基さん



【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞

「バッタを倒しにアフリカへ」  
(前野ウルド浩太郎/著 光文社新書)  
県立甲府第一高等学校 稲毛 千夏さん



【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞

「もりいちばんのおともだち」  
(ふくざわ ゆみこ/作 福音館書店)  
県立甲府昭和高等学校 林 実穂さん



## 想い ～家族へ・友だちへ～



**ポニーテール**  
重松清／著  
新潮社 2011年

フミのパパが再婚して、新しいお母さんとおねえちゃん加わり4人の生活が始まる。お互いを気遣い、ぶつかり合いながらゆっくりとひとつの家族になっていく物語。



「あの日」のこと  
高橋邦典／写真・文  
ポプラ社 2011年

東日本大震災の生の声を伝える写真絵本。あの日どんなことが起き、そして今何を思うか。写真の中の人の言葉に家族で耳を傾けてみては？

作品	作/訳/絵	発行年	出版社
モモ	ミヤエル・インデ / 作 大島かおり / 訳	2005	岩波書店
ゲド戦記1 影との戦い	アーシュラ・K・ル＝グウィン / 作 清水真砂子 / 訳	2009	岩波書店
星の王子さま	サンテグジュペリ / 著 内藤濯 / 訳	2000	岩波書店
トロツコ・鼻	芥川龍之介 / 著 清水耕蔵 / イラスト	2009	講談社
「また、必ず会おう」と誰もが言った。	喜多川泰 / 著	2010	サンマーク出版
愛、深き淵より。	星野富弘 / 著	2000	学研
西の魔女が死んだ	梨本香歩 / 著	2001	新潮文庫
ひとつのいのち、ささえることば	新垣勉 / 著	2004	マガジンハウス
麒麟の翼	東野圭吾 / 著	2011	講談社
ツナグ	辻村深月 / 著	2012	新潮文庫
フライ、ダディ、フライ	金城一紀 / 著 矢ヶ瀬智子 / デザイン・イラスト	2005	角川書店
有頂天家族	森見登美彦 / 著	2010	幻冬舎
夜のピクニック	恩田陸 / 著	2006	新潮文庫

## スポーツ・冒険



**サッカーボーイズ 明日への絆**  
清水久美子／著  
カンゼン 2009年  
小学生の頃からサッカーが大好きな佐々木諒平君。高校の選手権出場を目指してがんばる彼を悲劇が襲う。家族の絆、温かい仲間の言葉が深く胸を打つ。家族って、反だちっていいもんだ。



風が強く吹いている  
三浦しをん／著  
新潮社 2009年

同じアパートの住人を巻きこんで箱根駅伝を目指すことにした清瀬。クイズ大好きな“キング”、ヘビースモーカーの“ニコチャン先輩”など個性豊かな下宿人たちと一緒に走る、スポーツ小説。

## 自然・科学



空想科学読本 (1～13)  
柳田理科雄／著  
メディアファクトリー  
2006年～2013年

どこの図書館でも人気のシリーズ。非現実的なアニメの世界を真面目に、科学的に検証する。著者は中学生の親世代なので懐かしいアニメも随所に登場。親子で楽しめる。

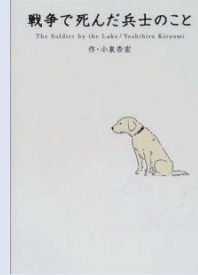


空の名前  
高橋健司／写真・文  
角川書店 1999年

明け方や雷など空の一瞬の表情をとらえた写真集。写真にはそれぞれ説明が付いています。東雲、夕映、問答雲…家族と空を見上げた時、空の名前を覚えてあげよう。

作品	作/訳/絵	発行年	出版社
スーパーイラストでしくみを知る ハイテクの世界	水谷仁 / 著	2012	ニュートンプレス
センス・オブ・ワンダー	レイチェル・L・カーソン / 著 上遠恵子 / 訳	1996	新潮社

## 平和・環境



戦争で死んだ兵士のこと  
小泉吉宏／著  
メディアファクトリー 2001年

ひとつの命の切ない絵本。後ろから読むと趣きが変わって違った味わいになる。子どもの誕生秘話や平和について語り合うきっかけになる一冊。



山本美香という生き方  
山本美香／著 日本テレビ／編  
日本テレビ放送網 2012年  
28歳で運命の出会いをし、戦地取材するジャーナリストとしての一歩を踏み出した山本さん。彼女の生き方は、人生における選択と使命について私たちに教えてくれます。

作品	作/訳/絵	発行年	出版社
ヒトラー・ユーゲントの若者たち	S.C.バートレット / 著 林田康一 / 訳	2010	あすなろ書房
心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師	今西乃子 / 著 浜田一男 / 写真	2011	金の星社

## 世の中・人とのかかわり



こころの処方箋  
河合隼雄／著  
新潮社 1992年

全55章からなるこころの備え方。君の悩みを解決してくれるわけではないけれど、どう考えればよいかを教えられる。心に留めておくと、ピンチのときにきっと救われる。



きりぎりす  
太宰治／著  
新潮文庫 2008年

太宰治の作品は「人間失格」「走れメロス」だけではありません。画家の妻が出世した夫に語りかける「きりぎりす」、甲府が舞台の「畜犬談」など、やわらかな語り口で人の哀しみを描きます。

作品	作/訳/絵	発行年	出版社
ちよい大人力検定	石原壮一郎 / 著	2008	河出書房新社
あたりまえだけど、とても大切なこと	ロン・クラーク / 著 亀井よし子 / 訳	2004	草思社
心が元気になる英語のことば		2002	ジオス出版
いのちの食べかた	森達也 / 著	2004	理論社
種をまく人	ポール・ワイルマン / 著 片岡しのぶ / 訳	1998	あすなろ書房
学歴入門	橘木俊詔 / 著	2013	河出書房新社
ルポ貧困大国アメリカ	堤未果 / 著	2008	岩波書店
一九八四年	ジョージ・オーウェル / 著 高橋和久 / 訳	2009	早川書房
15歳の君に見てほしい22世紀の未来	中原恒雄 + 未来予測研究会 / 著	2007	徳間書店
ピュリツアー賞受賞写真全記録	ハル・ピュエル / 著 河野純治 / 訳	2011	日経フォトグラフィック社

## ふるさと



今日はなんの日、富士山の日  
田代博 / 著  
新日本出版社 2009年

山梨からは毎日見える富士山が世界文化遺産に登録されました。日本一高いこの山を見ることが出来る限界の地はどこなのか、全国に「富士見」という地名はいくつあるのかなど楽しい情報満載。



キャン・ユー・スピーク甲州弁?  
五緒川津平太 / 著  
樹上の家出版 2009年

「もちにいく」「かじる」など方言と知らずに使っている言葉から、「みぐさい」「おやす」などの甲州弁絶滅危惧種まで楽しく学べます。地域の文化を伝えている方言。大切に残していきたいと感じさせてくれる一冊です。

作品	作/訳/絵	発行年	出版社
日韓交流のさきがけー浅川巧	梶村彩 / 著	2004	揺籃社